

迅速な行動が人命を救いました！

6月27日、杵藤地区広域市町村圏組合消防本部にて、人命救助に対する感謝状贈呈式が行われました。

5月29日早朝に市内で発生した建物火災において、煙が充満した建物の中から女性を救出された武雄町に在住の馬渡公子（もうたひさみこ）さんに感謝状が贈呈されました。

馬渡さんは、「とにかく無我夢中だった、落ちてみるかと大変怖かった。」と当時の様子を語られました。消防本部からは、「危険な状況下で、意を決した迅速な行動があったからこそ人命を助けられた。」と、勇気ある模範的な行動に感謝の意を述べられました。



「夢への挑戦」課外授業の実施

6月26日、武雄北中学校で、アトラクタパラリンピックの男子マラソン金メダリスト、柳川春己（やなぎわはるみ）先生による「目は見えなくても夢や目標を持てる」という強い信念と熱いメッセージが込められた課外授業が行われました。授業の中では、障がいについて生徒たちが身近に考えられるように、柳川先生を先導して会場を走る場面もあり、生徒たちはその難しさと柳川先生がどれだけ強い目標を持ってメダルを獲得したのかを体感しながら、学んだ様子でした。

柳川先生は、「私も皆さんも一人ではない。色々な壁を乗り越えて、たくさん挑戦してほしい。」と、また、「周りには強い人と弱い人がいるけど、いつでも誰とも助け合える人になってほしい。」とご自身の経験を通して語られました。



「MAEMUKI 駆伝」のタスキ、武雄市へ肝ぞろWEEK 肝ぞろWEEK 武雄市キックオフセレモニー

がんを経験された方などが、タスキをつないで全国を走る駆伝を、民間事業者のアメリカカンホーム医療・損害保険株式会社により企画したことがきっかけで始まった「MAEMUKI 駆伝」。

7月19日、同社の副社長、古川県知事、肝炎佐賀の会をはじめとする関係団体、樋渡市長が見守る中で、佐賀県としての出発セレモニーが武雄市図書館・歴史資料館前で行われました。古川県知事が長崎県からのタスキを受け取り、佐賀県内第1走者となるランナーへ託されました。

この日を皮切りに佐賀県内の区間を「肝ぞろ WPM」として、7月の24日までの1週間、肝炎患者さんをはじめとする有志の方によってタスキがながれていきました。第1走者を飾るランナーは、「自分は一人じゃない。周りからたくさん元気をもらったので、たくさんの方のために頑張りたい。」と、意気込みを語り、大勢が見守る中で、タスキをしっかりと肩に掛けて走り出されました。



武雄市議会6月定例会

6月定例会は6月2日から6月19日までの18日間の会期で開かれ、市長提出議案14件のほか、意見書など、計29議案が審議されました。また、一般質問は16名の議員から63項目の通告により4日間の日程で行われました。

条例・事件議案

「武雄市税条例等の一部を改正する条例」、「武雄市非常勤消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条例」など、6件が原案どおり可決されました。

予算議案

「平成26年度武雄市一般会計補正予算（第1回）」と、特別会計補正予算については「平成26年度武雄市下水道事業特別会計補正予算（第1回）」のほか3件の特別会計が、原案どおり可決されました。

その他

「情報化社会に対応した教育予算の拡充を求める意見書」、「国民健康保険事業運営に係る国の財政支援を求める意見書」いずれも賛成多数で原案どおり可決されました。また、固定資産評価審査委員会委員の選任については、福地純一氏（北方町）を選任することに同意されました。

6月定例会の詳しい情報は、武雄市ホームページからご覧いただけます。
HOME▷市政情報▷市議会▷6月定例会
<https://www.city.takeo.lg.jp/shisei/shigikai/>

